

## 目標達成計画

作成日: 平成24年12月12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	。現入居者の中で、カムさあでの看取りを希望されている方も多くこの項目について今後も継続的な強化が必要になる。	ご本人・ご家族のご意向をくみ取り看取り介護の実践に勤める。また、主治医との連携を深め、安心できる看取り介護になるよう努力すると共に、職員の不安がないよう看取り介護・急変時の対応を学ぶ機会を多く設ける。	①看取り介護の振り返りならびにデスカンファレンスを行い、不安点・問題点・課題の抽出を行い、課題に向けた取り組みを明確にする。 ②主治医との連携がより良い関係になるように努力する。 ③ご本人・ご家族の意見を取り入れた看取り介護になるように話し合いの場を多く設ける	2ヶ月
2	35	災害対策や災害教育を行い、災害に対する備えをすることで、緊急時の入居者の安全を守ることが必要である。	地域と連携した防災対策を推進しすることで、入居者が安心して暮らすことができる。	①年2回以上の防災訓練の実施 ②職員へ防災教育を行い、災害時の適正な対応が図れるようにする ③建物周囲に可燃物を置かない ④日中・夜間の定期的な見廻り	2ヶ月
3	49	日常的な外出支援をすることで生活に張りが生まれ、ご家族や地域の方々より良い関係を築くことが必要である。	一人ひとりのニーズに合わせた外出を計画・実施することで馴染みの関係を継続することができる。	①入居者の体調・ニーズに対応した外出を計画・実施する ②自宅への外出や馴染みの場所へ出かける ③気候が良くなれば、戸外へ散歩に積極的に出かける	直ちに (実施済)

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。